



夏休みはいかがお過ごしだったでしょうか？2学期がスタートしました。まずは生活リズムの回復を！！
第4回目は、7月16日に行われたO T連携指導についてお伝えします！



OT(作業療法士)連携指導がありました！！



1 日時 令和6年7月16日(月)

2 指導者 O T連携指導(作業療法士) 菊野病院 三堂先生

※OT(作業療法士)は、身体や精神に障害のある人がその心身機能を回復し、日常生活・社会生活に復帰できるように食事、歯磨き、入浴などの日常生活の動作、家事、芸術活動、遊び、スポーツといった生活の中における作業や動作などを用いて訓練・指導・評価・援助を行います。

3 対象児童生徒 小学部 6人 中学部 1人 高等部 1人 計 8人

(参加及び記録) 担任、自立活動担当(村上・中菌)、生活支援センターなんさつコーディネーター(折口さん)

4 主な指導内容とアドバイス

今回の連携指導では主に4人の児童生徒に対して、参観または、個別に指導していただきました。筆記具や食具を扱う際の持ち方、使い方についての指導のポイント、筆圧を高める手立て等、御助言をいただきました。



Q スプーンから箸への段階的移行について

靴下・靴・衣服の一人での着用練習やポケットを使用できるようになる効果的練習法

A 手指の操作性等、学校でいろいろな経験をして伸びている状況。利き手がまだ曖昧であることから、食事や身辺処理のことも含め、本人が楽しく取り組めることが大事。指先を使う遊び(シール貼り、コイン入れが有効。スプーンなど3点で持つ練習を。



Q 筆圧が弱い。姿勢保持が難しい。動きの模倣が苦手

A 鉛筆の握り方は上手。書くときに、手を浮かせる時がある。筆圧とコントロールのどちらに重きを置くのか。適切な枠の大きさ、正しい手の使い方での力加減の調整をしたい。塗り絵や迷路なども良い。両手を使った体作りが大切。両手で方を上げると伸びる。いろいろな姿勢として、かくれんぼなどの遊びもある。動きの模倣が苦手に関しては、ポーズまねっこ遊びなどが有効。



Q 指先の不器用さ、スプーンの持ち方。

活動への苦手意識、姿勢保持が難しい。

A 使用するスプーン等は、家と学校で揃えた方が良い。台の上にお盆をのせて少し高くし、手を支えて上げることで安定させた方が良いのでは。また、台に手を置いて食べる等もある。活動への意識については、遊びの中で最初にできそうなところから入っていく、苦手意識があるところを楽しめるようにしたい。椅子に座っているとき、足に遊びがあるので、足を置く台や背もたれがあれば。できることを少しずつ、賞賛しながら自信をもたせ、レベルアップを。

